

阪急梅田駅 米や日本酒人気

関西圏に県産品の品質の高さ、魅力をPRしようとして、県は19日、大阪市の阪急梅田駅に期間限定のアンテナショップ「おいしい山形プロザ阪急梅田店」をオープンさせた。旬を迎えたサクランボの他、日本酒、コメなど「美食品・美酒山形」ならではの農産品、農産加工品がそろった。

常設化を見据え、消費者の嗜好(しこう)、売れ筋を調査し、販路拡大につながることも狙い。サクランボ「佐藤錦」、IWC日本酒部門審査会で高評価を得た県産日本酒、県産ブランド米「つや姫」は人気を集め、佐藤錦、つや姫のおにぎりは試食提供された。

訪れた人は試食で味を確かめ、気に入った品を買い求めた。期間中は他にも旬を迎えたメロンや、今秋デビューする県産米新品種

ドローン講習開始

マツキ米沢校、認定証取得



自動車教習所の一角に設けられた講習会場—米沢市(マツキ提供)

山形、福島、新潟各県で自動車教習所を展開するマツキ(長井市、松木盛行社長)は、米沢市のドライビングスクールの空きスペースを活用し、小型無人機「ドローン」の操縦技術を学ぶ

山形市産セロリ「山形セロリ」、郷土料理「だし」、関西圏で評価が高い玉こんにやくなどが並ぶ。



サクランボ、日本酒など県産品の魅力売り込んだ期間限定アンテナショップ

大阪府・阪急梅田駅

ドローン操縦者技術認証管理団体に登録されている一般社団法人日本ドローンコンソーシアム(JDC)の公認スクールとして開校。同社によると、自動車教習所でのドローンスクールは県内で初めてという。

ドローン操縦に免許などの資格は必要ないが、国交省は必要な知識や操縦能力などの基準を設定。JDC認定コースを受講することで、基準に則した知識や技術を身に付け、技能認定証を取得することができる。

ドローンスクールはドライビングスクール米沢校併設の教室に設置。座学は同校のドローン技術者講習会

場の建物内の一角に設けた。認定コースは4日間で、座学やシミュレーションを用いたトレーニング、実機を使った実習を行う。受講料は24万8400円。7月末まではオープンキャンペーンとして21万6千円の特典になる。

初心者向けにドローン操縦のお試しができる半日体験コースも用意。費用は1万8000円で、マツキ教習所の入校者や卒業者は割引特典として半額となる。今後、村山地方の教習所でもドローンスクール開校を予定しているという。問い合わせはマツキドローンスクール米沢校0120(108)160。

1学級1新聞を拡大

県内全私立高にも配備

山形新聞社 江浩二社長 第1200期(2017・4・1)18・3・31 8億2650万円(1・2%減) 11億260万円(2・1%減) 6億3010万円(18・9%減)

地方創生をテーマに郷土愛の醸成、学力向上、経済的理由による教育格差の解消を目指し、小学5年から中学3年までの各クラスに本紙を配備する「1学級1新聞」が県内ほぼ全ての市町村で始まった。6月からは私立学校版が県内全私立高の学級に拡大し、出前授業も実施して児童・生徒が新聞に親しめる環境づくりに努めた。連携協定を結んだ山形大の教員免許状更新講習「新聞活用」のスマーティE実践入門講座」にも協力した。

山形新聞・山形放送8大事業として米ミネソタ州ロチェスター

純利益は1.2%アップ

山形ゴルフ倶楽部 町、千歳 貞治郎社長) 第32期(2017・4・1)18・3・31 4億4590万円(8・1%減) 1600万円(37・8%減) 1020万円(1・2%増)

山辺町の山形ゴルフ倶楽部と、指定管理者となっている舟形町の県民ゴルフ場を運営・管理している。入場者数は山形ゴルフ倶楽部が前期比4094人減の3万954人。雪解け

25年連続の視聴率3冠

山形放送 (山形市、本間和夫社長 第84期) 2017・4・1)18・3・31 46億6360万円(1・7%減) 3億1660万円(27・1%増) 1億3840万円(41・9%減)

テレビのタイム収入はキー局から配分されるネットが前期を上回ったものの、ローカルは通販番組の減少などによりダウン